

◎昭和47年度第10回理事会議事録(48.3.27) 出席者：岡本会長(委任状)、石川、篠原、横道(委任状)の各副会長、下村専務理事、足立(委任状)、浅間、荒木、市田(委任状)、岡田(委任状)、金子(委任状)、叶(委任状)、後藤、鈴木(委任状)、竹内(委任状)、岡田(委任状)、長尾、林(委任状)、福田、細井、松本(委任状)、三浦(委任状)、吉田の各理事、奥田、渡辺の各監事。議事録署名理事の決定：石川副会長、下村専務理事、福岡理事。A. 報告事項：1) 会計報告；下村専務理事から概略説明があり、了承。2) 刊行物頒布報告および3) 各種委員会その他報告、の2件については説明を省略して了承。4) 会務担当(総務・経理)理事会報告；下村専務理事から、前回(第9回)理事会において会務担当(総務・経理)理事会で検討することとされた土木学会職員就業規則の一部改正について、去る3月6日に開催し検討した旨の報告があり、審議経過その他については議事と重複するため、具体的には議題3)において審議することになった。5) 会務担当(合同)理事会報告；下村専務理事から、去る3月10日に会務担当(合同)理事会を開催し、昭和48年度事業計画案および予算案について検討を行った旨の報告があり、審議経過その他については議事と重複するため、具体的には議題1)および2)において検討することになった。6) 役員候補者選考委員会報告；下村専務理事から、去る3月13日に開催された役員候補者選考委員会における昭和48年度新役員候補者推薦の審議経過について、資料により報告があり、了承。7) 東レ科学技術賞受賞者決定報告；下村専務理事から、財団法人東レ科学振興会からの依頼により昨年9月26日開催の第4回理事会決定を経て丸安隆和君(東大生研)を東レ科学技術賞受賞候補者として推薦したところ、このたび財団から受賞者に決定したとの連絡があった旨の報告があった。B. 協議事項：1) 昭和48年度事業計画案について；下村専務理事から概略説明があり、次いで事務局員が原案を朗読した後、種々論議された結果、異議なく決定し、第1回定例評議員会に提出して、その承認を求めたことになった。2) 昭和48年度予算案について；下村専務理事から総括説明があり、次いで事務

局員が細部説明を行なった後、種々論議された結果、異議なく決定し、第1回定例評議員会に提出して、その承認を求めたことになった。3) 土木学会職員就業規則の一部改正について；下村専務理事から、去る3月6日開催の会務担当(総務・経理)理事会において検討された事務局職員住宅手当の支給額改訂の審議経過概要説明および改正を了承された旨の結論の報告があり、異議なく、昭和48年4月1日から実施と決定。4) 流域における水循環とその変化に関する国際シンポジウム準備委員会立替金について；下村専務理事から、「1975年(昭和50年)に日本において標題の国際会議が開催されるに当り、同シンポジウム準備委員会から国際会議実施までの期間において必要とする経費の一部を土木学会において立替(貸与)願いたいとの申出があった」旨の説明があった後、同準備委員会を代表して挨拶ならびに説明のために特に出席された吉川秀夫氏から「国際会議の必要経費は国費、寄付金等により賅う予定であるが、これらが現実に入るとなる時期までの経費の一部として50万円を土木学会から貸与願いたい」旨の要望があった。これについて種々論議された結果、やむを得ないとして認めることに決定。5) その他；①第2回定例評議員会の開催について；下村専務理事から、昭和47年度事業報告および決算報告について第59回通常総会(昭和48年5月29日開催)において承認を求めめるために、第2回定例評議員会を来る5月16日(水)に開催したい旨の提案があり、異議なく決定。②会員入退会について説明を省略して承認。③次の理事会について。

◎名種委員会

(1) コンクリート標準示方書改訂小委員会第3分科会(48.1.19) 出席者：岡田主査、ほか9名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち骨材、碎石に関する条項の審議。

(2) 学会創立60周年記念事業委員会第1回常任委員会(48.2.12) 出席者：岡本委員長、ほか9名。議事：1) 委員長あいさつ。2) 組織および構成。3) 経過報告；①出版、行事、総務各部会報告、②図書購入。4) 50周年記念事業概要。5) その他。

(3) コンクリート標準示方書改訂小委員会第5分科会(48.2.12) 出席者：柳田主査、ほか10名。議事：コンクリート標準示方書改訂のうち配合、管理、試験配合、管理試験の条項につき審議。

(4) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第1グループ打合せ(第14回)(48.2.13) 出席者：久保委員長、伯野主査、ほか12名。議事：第1グループ研究課題の関連資料の説明および検討。

(5) 本州四国連絡橋耐震研究小委員会第11回委員会(48.2.13) 出席者：久保委員長、ほか18名。議事：1) 各グループ打合会の経過報告ならびに昭和47年度報告書原案の検討。2) 耐震設計指針(案)について。

(6) 下水汚泥の処分方法に関する研究小委員会脱水等に関する分科会(48.2.14) 出席者：寺島委員長、左合主査、ほか13名。議事：調査結果の審議。

(7) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会(第10回)(48.2.14) 出席者：堀川主査、ほか12名。議事：鋼材分科会報告書原案の検討。

(8) 原子力土木委員会耐震部会打合せ(48.2.14) 出席者：岡本副会長、ほか4名。議事：報告書Ⅱ原稿審議；①動的解析条件、②応答解析(スペクトル法による応答解析)。

(9) 土構造物の設計標準に関する研究委員会(第2回)(48.2.15) 出席者：最上委員長、ほか22名。議事：1) 委員長あいさつ。2) 幹事会経過報告。3) 原案の検討；①橋台、②地中構造物、③掘削土工、④基礎編。4) 昭和47年度報告書について。

(10) 岩盤力学委員会第3分科会(48.2.15) 出席者：川本主査、ほか9名。議事：1) 前回議事録の確認。2) アメリカにおける最近の地盤工学のFEM研究の紹介／名古屋大学 川本眺氏。3) 岩盤試験法の標準化原案の検討。4) その他。

(11) 水理委員会幹事会(48.2.15) 出席者：吉川委員長、岩佐幹事長、ほか10名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 第9回水工学に関する夏期研修会について。3) 昭和49年度水理委員会(48)研究小委員会研究課題について。4) 昭和48年度土木学会全国大会研究討論会について。5) 次期委員会構成および委員長選出について。

(12) 水理委員会密度流研究小委員会(48.2.15) 出席者：岩崎委員長、岩佐、室田、嶋の各主査、ほか9名。議事：1) 各分科会間の第1原稿の調整について。2) 今後の作業の進め方について。

(13) 第2回水理委員会(48.2.16) 出席者：吉川委員長、石原顧問、ほか29名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 報告事項。3) 昭和49年度水理委員会研究

小委員会研究課題の投票。4) 昭和48年度土木学会全国大会研究討論会について。5) 次期委員会構成および委員長選出について。

(14) 視聴覚教育委員会(48.2.16) 出席者: 関係者8名。議事: 1) 第5回土木学会映画コンクールについて。2) スライド製作について。3) その他。

(15) 企画委員会第7回幹事会(48.2.16) 出席者: 掘委員長, 服部幹事長, ほか3名。議事: 土木学会のあり方について。

(16) 琵琶湖の将来水質に関する調査小委員会(48.2.17) 出席者: 岩井委員長, ほか12名。議事: 1) 昭和47年度報告書の作成について。2) 昭和48年の調査方針。

(17) 沈埋トンネル耐震設計研究委員会第5回主査幹事会(48.2.19) 出席者: 田村, 栗林, 土田の各主査, ほか8名。議事: 沈埋トンネル耐震設計指針第2次案の検討。

(18) トンネル工学委員会運営小委員会(48.2.19) 出席者: 住友委員長, 坂本副委員長, ほか10名。議事: 1) 米國トンネル視察来日について。2) トンネルシンポジウム開催計画について。

(19) 海岸工学委員会幹事会(48.2.19) 出席者: 岩垣委員長, 堀川幹事長, ほか8名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 第20回海岸工学講演会について。3) 昭和48,49年度海岸工学委員会構成の検討。4) Coastal Engineering in Japanについて。5) 昭和47年度第3回海岸工学委員会開催について。

(20) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会鋼材分科会(第11回)(48.2.20) 出席者: 堀川主査, ほか11名。議事: 鋼材分科会報告書原案のとりまとめ。

(21) 鋼構造委員会鋼材規格小委員会(第3回)(48.2.20) 出席者: 奥村委員長, 西村副委員長, ほか11名。議事: 1) 船体用高張力鋼について。2) 寸法公差について。3) 厚もの60キロ鋼について。4) 全国大会研究討論会のテーマ等について。

(22) 海洋開発委員会幹事会(48.2.21) 出席者: 本間委員長, ほか6名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 第4回海洋開発シンポジウムについて; ①応募結果の報告, ②特別講演テーマの検討, ③プログラムの作成, ④執筆依頼について。3) 次期委員会構成の検討。

(23) 海洋構造物に関する調査研究委員会第3分科会(第5回)(48.2.22) 出

席者: 村上委員長, ほか9名。議事: 海洋鋼構造物設計指針(案)解説について。

(24) 岩盤力学委員会主査幹事会(48.2.22) 出席者: 飯田副委員長, 吉中幹事長, ほか3名。議事: 1) 前回議事録の確認。2) 今年度の委員会経過について。3) 関連委員会事項について; ①岩の力学研究連合委員会, ②第4回岩の力学国内シンポジウム。4) 委員の異動について。5) その他。

(25) 海洋構造物に関する調査研究委員会第2分科会(第5回)(48.2.22) 出席者: 関係者5名。議事: 海洋鋼構造物設計指針(案)解説について。

(26) 原子力土木委員会耐震部会東地区分科会(48.2.22) 出席者: 馬場主査, ほか4名。議事: 報告書Ⅱ原稿審議。

(27) コンクリート標準示方書改訂小委員会第3分科会(48.2.23) 出席者: 岡田主査, ほか10名。議事: コンクリート標準示方書改訂のうち骨材, 砕石に関する条項の審議。

(28) 学会誌編集委員会(48.2.23) 出席者: 関係者18名。議事: 1) 経過報告。2) 受付論文査読。3) 6月号編集打合せ。4) 次回講座打合せ。5) その他。

(29) 本州四国連絡橋鋼上部構造研究小委員会(第4回)(48.2.26) 出席者: 奥村委員長, ほか23名。議事: 1) 委員長あいさつ。2) 各分科会経過報告および各分科会中間報告書原案の検討。3) 今後の開催予定について。4) 昭和48年度の方針について。5) その他。

(30) プレストレストコンクリート設計施工指針改訂小委員会設計分科会(48.2.26) 出席者: 河野副委員長, 猪股主査, ほか10名。議事: プレストレストコンクリート設計施工指針編の逐条審議を行なった。

(31) コンクリート標準示方書改訂小委員会第5分科会打合せ(48.2.27) 出席者: 柳田主査, ほか12名。議事: コンクリート標準示方書改訂のうち配合, 管理, 試験配合, 管理試験の条項につき審議。

(32) 原子力土木委員会耐震部会(48.2.27) 出席者: 岡本部長, ほか13名。議事: 1) 報告書Ⅱ未審議事項の審議。2) 報告書Ⅲ原稿審議。3) その他。

(33) 土木建造物の取替標準に関する研究委員会一般事項分科会(48.2.27) 出席者: 関係者13名。議事: 一般事項に関する検討。

(34) 鋼構造委員会鋼構造架設小委員会打合せ(48.2.27) 出席者: 菊池委員

長, ほか5名。議事: 作業状況の確認と今後のとりまとめ方法について。

(35) 岩盤力学委員会(第3回)第2分科会および見学会(48.2.27~28) 出席者: 池田主査, ほか15名。現場見学; 東北新幹線第2有壁トンネル(27日)。議事: 1) 分科会活動について; ①来年度研究計画, ②委員の異動について, ③国内シンポジウム論文推薦, ④国際岩の力学会議(Congress), ⑤その他。2) 第2有壁トンネル機械掘削; ①地質と実績ならびにRTM導入までの経過, ②検討。3) 文献による実績のまとめ方; ①構成の説明, ②検討: 様式の統一, 製作の割りふり, 実績文献不足, 皆無のもの処理。4) その他。

(36) 本州四国連絡橋耐風研究小委員会第16回幹事会(48.2.28) 出席者: 関係者7名。議事: 1) 報告書原案の検討。2) 今後の作業予定について。

◎その他

(1) 第2回岩の力学講演会(48.2.16)

場所: 日本学術会議講堂

主催: 日本学術会議力学研究連絡委員会

共催: 土木学会(幹事学会), 日本鉱業会, 土質工学会, 日本材料学会

参加者: 168名

講演数: 6題

(2) 第17回水理講演会(48.2.16)

場所: 発明会館ホール

講演題数: 19題

参加者数: 約240名

課題: A 密度流

B 急斜面の水理現象

C 都市域の降雨流出

(3) “地震応答解析と実例”出版に伴う懇親会(48.2.19)

場所: 土木図書館5号室

参加者: 18名

(4) 第8回岩盤力学に関するシンポジウム(48.2.21~22)

場所: 土木図書館講堂

参加者: 140名

講演数: 19題(うち特別講演2題)

支 部 だ よ り

◎東北支部

(1) 技術講座と映画の会(48.2.6)

会場: 山形産業会館

講演:

①開会のあいさつ

山形県土木部長 石橋金一郎

②土質工学の基本

東北大学工学部長 河上 房義

③法面保護対策

開発工事(株)土木部長 岩淵 丞
映画:尾道大橋・東名高速道路

(2) 第7回昼食会(48.2.13, 支部事務局)

講演:海中岩石破砕火焔ジェット工法について

飛鳥建設(株)仙台支店長
井上毅久平

議題:①本部関係人事について

②事務局報告

出席者:多谷支部長, ほか 16 名。

(3) 技術研究発表会(48.2.23)

会場:宮城県民会館

発表数:75 編

参加者:300 名

(4) 商議員会(48.3.6, クローバー)

出席者:多谷支部長, ほか 25 名。議題:1) 昭和 48 年度支部役員の選考方針について。2) 昭和 48 年度本部役員の推せんについて。3) その他。

◎関西支部

(1) 構造物・施設の調査に関する研究会:(第4回)河川工作物の調査に関する研究会(48.2.20, 大阪科学技術セ

ンター)

題目と講師:

1. 流路変動と河道計画

京都大学教授防災研究所
工博 村本 嘉雄

2. 堤防の漏水とその対策

建設省土木研究所機械施工土工質研究室長
工博 山村 和也

3. 淀川大堰の工事に伴う調査とその検討

建設省淀川工事事務所長 長尾 精

4. ロックフィル・ダムの挙動

一喜撰山ダムの例一
関西電力(株)建設部ダム保安課長
丹羽 武彦

討議 司会:京都大学教授防災研究所
工博 芦田 和男

参加者:66 名

(2) 第3回商議員会(48.3.12, 好文倶楽部)出席者:柳瀬支部長, 後藤幹事長, ほか 45 名。

(3) 第3回幹事会(48.3.12, 好文倶楽部)出席者:柳瀬支部長, 後藤幹事長, ほか 12 名。

(4) 庶務・会計担当幹事会(第7回)(48.2.26, 土木学会関西支部)出席者:後藤幹事長, ほか 9 名。

(5) 橋りょう下部構造診断委員会第3小委員会(第1回)(48.2.27, 大阪キャッスルホテル)出席者:関係者 8 名。

(6) 第74回騒音振動委員会(48.2.27, 土木学会関西支部)出席者:島山幹事長, ほか 9 名。

(7) 騒音振動委員会幹事会(第71

回)(48.2.27, 土木学会関西支部)出席者:島山幹事長, ほか 3 名。

(8) 支部だより2号座談会「われわれの支部を考える」(48.2.17, 土木学会関西支部)出席者:柳瀬支部長, 後藤幹事長, ほか 10 名。

(9) 商議員交替

(旧)西村昭三商議員
国鉄新幹線総合計画部次長に転出
(新)田辺陽一氏
国鉄大阪工務局次長に商議員委嘱

(10) 騒音振動委員会委員兼幹事委嘱
早川 清
立命館大学理工学部土木工学教室助手

◎西部支部

(1) 地区評議員会(48.1.23)

議題:来年度支部長に西日本鉄道工務部長(支部商議員)古賀公平氏を推せん了承をうく。

(2) 第3回幹事会(48.1.23)

議題:1) 2月25日支部総会に提出する事業および会計中間報告承認。2) 新材料新工法発表参加7社, 3月15日開催決定。3) 支部職員採用内規中退職金については本部規定準用のこととする。

(3) 沖縄における特別講演会(48.1.27)

講師:4名

聴講者:78名

編集後記

■市原久義・記

情報の氾濫する現代, マスコミやたくさんさんの雑誌を通じて, 情報は次から次へと送り込まれてきます。それでいて, いざ必要な資料を求めると情報の山に埋もれてなかなか見つからない。うっかりしていると人間が情報に翻弄されてしまいます。本当に必要な情報を選択し, 自分なりに整理して活用することが不可欠でしょう。

専門分野での情報収集の手段として学会誌を読まれると, おそらく多くの方が

不満を持たれると思います。2万数千人の会員を対象とした学会誌の性格として, ある特定の分野だけを追うことは不可能ですし, 限られたページ数でこの広い土木の各分野を網羅することもまた無理です。

本号に収載しました展望・報告の各論文は, 各編集委員の希望をまとめて執筆を依頼したもので, それぞれの分野ではきわめて興味深いテーマですが, 専門外の方にはあるいはつまらないテーマかもしれませぬ。それはそれでやむを得ないことだと思えます。

学会誌の役割りはむしろ, 会員を「土木」という共通の広場に引き出して, 話

題を提供し, とともに考えて行くことにあるのではないのでしょうか。

社会の価値観までが変わっていく中で, 相変わらず土木は, セメントの生産が追いつかないほど盛んに活かされ, ある意味では社会をリードしています。狭い分野を出て, 土木全体として学び考えて行かなくてはならないことがたくさんあるはずですよ。

その意味では, 大切にバックナンバーを保存して頂くより, 読み捨ててであっても全体を一読して頂く方が, 編集委員会としては有り難いのです。だれもが気楽に読んでくれる週刊誌的なイメージづくりに苦しんでいるのですから。

土木学会投稿の手引き

●土木学会投稿の手引き特別小委員会・編集●

B5・40 ページ 350 円(〒70 円)

1. はじめに 2. 土木学会誌・土木学会論文報告集投稿要項解説 3. 土木学会投稿原稿の書き方 4. 欧文論文のまとめ方 5. オフセット用原稿の書きかた, など。付録つき